

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募  
草の根活動支援事業 全国ブロック 採択事業

事業名 主題	がん患者支援などの事業	
事業名 副題	—	
団体名	公益財団法人 日本対がん協会	
代表者名	会長	垣添忠生
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動; ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動; ④ 働くことが困難な人への支援; ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援	
事業の概要	日本では年間約100万人が新たにがんと診断されます。診断された約3割が離職し、自殺する人も多く、5～14歳の子供の病死原因の1位でもあります。患者だけではなく、家族も苦しみ、悩むため、そのサポートも必要です。がん患者支援などの事業として、これらの課題を解決するために【1】がん就労支援事業【2】がん患者の自殺防止【3】AYA世代（15歳から39歳）患者や小児がん患者の支援【4】希少がんや障害者の患者支援【5】がん相談窓口の強化、5つの課題に取り組みます。これらを解決することで、がん患者が自分らしく生きることができる社会を築きます。	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	80,000,000
	PO関連経費	28,000,000
	評価関連経費	8,000,000
	<b>合計</b>	<b>116,000,000</b>

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活から突然に療養生活に変わったギャップに苦しむ方も多課題領域の中、この分野の支援はどのセクターもカバーしきれていない領域と考えられる。</li> <li>・多様な事業展開の可能性に触れられており、全国域で行うプログラムとして期待できる。</li> <li>・予防啓発よりも患者支援に比重を置いた助成事業が期待される。</li> <li>・従来の活動ではなかなか着手できていない課題（患者数が少ない疾病の生活サポート等）で、かつ、本助成の優先すべき課題とつながり、緊急に解決が必要な課題とそれらのアウトカムを再設定していただき、事業化するという組み立てを検討していただきたい。</li> </ul>
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。